

「食べる」ことは「生きる」ことに直結します。それは高齢者や子どもも同じです。私たちが生活する社会の中には、食べる物がなくて困っている人がいます。その人たちを救うために私たちができることを考えてみましょう。

照会 福祉課 ☎0537(85)1121

食品ロスは「もったいない」

平成27年度の日本国内における年間食品廃棄量は、約2010万トン。このうち、売れ残りや賞味・消費期限を越えた食品、食べ残しなど、本来食べることができたはずの、いわゆる「食品ロス」は約632万トンにも及びます。これを、日本人1人当たりで換算するとお茶わん1杯分(約136グラム)の食べ物が毎日捨てられていた計算になります。日本は食料の大半を輸入に頼って

います。その一方で、食べることができるといって大量に捨てているという「もったいない」現実があります。

生活困窮者を救うフードバンク

福祉課には、病気や失業、離婚といった理由で低収入となり、その日に寝るところや食べる物が無いような状態で相談窓口を訪れる人もいます。このような場合は、生活保護などの福祉制度を利用することとなりますが、申請から決定までに時間が掛かります。就労



「ありがとう」へ

大変貴重な食品
頂き 本当に
感謝 いたしました。
この様に寄付して
くださる方がいることを知り
一人ではないと
うれしく思いました。

今、すごく生活が困っていて 本当にどうしようもない時に、市役所さんから この NPO法人 を紹介してもらって、すごく 助かりました。うちに 子供 がいて、子供達も すごく 助かったし、喜んで います。*+ 思っていたよりも たくさん 食品 を下さり、しかも品質も良かった と思います！ 本当に 本当に 助かりました。市役所さんの 対応 も良かったです。これを 契機に、自分も 頑張りたいと 思いました。次は 必ず 自分で 頑張りたい と思います。

今回は食料支援 ありがとう
ございました。
中1の子供を はじめ 3人の子供
も 大変に 喜んでいます。
大切に 食べさせて 頂きます。
これから 一所懸命 が あります。
本当に ありがとう ございました。

品物を頂いた時は本当に
命を助けてくださり
ありがとうございます
現在10/8で67才になりました
病気で障害者の
せいで働いて います
65才をすぎると お肉や魚は
給食で出る以外に ないこと
がありまして、頂いた物すべて
私の 命の源です

お米、ゆめかめ御飯などがお弁当
を持って行く高学年の男の子がいて
凄く助かりました。お肉、お菓子が
のほほえましいですが、ふりかけとかで
おかずがかわりに食べられると。
お菓子も入れて頂き、お心遣いに
感謝しています。
本当に助かりました。
ありがとうございます。

フードバンク 利用者の声

